

## 平成 3 0 年度 文化祭

教頭 松木 伸子

去る 1 0 月 2 1 日 ( 日 ) に「鹿盲 Enjoy! みんなでつなく心」をテーマとする文化祭が行われました。

当日は、風も心地よい秋晴れの下、1 0 0 名を超す観客に、児童生徒は堂々と、日頃の学習の成果を発表することができました。小学部はダンス「かもようさこい 2 0 1 8」、中学部は宮沢賢治の「注文の多い料理店」の劇、高等部普通科は盲学校の歴史をタイムスリップの形で表現した劇、高等部専攻科は理療科の何気ない日常を表現した劇、そのほか箏曲や音楽部の発表、個人発表(マジックショー、歌など)、P T A バザー、あん摩マッサージ・オイルマッサージの実演など、盛りだくさんの演目で観客を魅了しました。

短い練習時間をフルに活用しながら各学部の特色を表現できており、また、児童生徒や教師の「心が一つになった瞬間」を間近に感じられた喜びを噛みしめながら、笑い感動をもらうことができました。

児童生徒や先生方の「力強いつながり」や「柔軟な発想」、「一つにまとまっている学校」、「協力を惜しまない保護者」など、鹿児島盲学校の「良いところ取り」だった文化祭、創立 1 1 6 年にふさわしいものでした。

これからも、この文化祭の成功を自信にし、実りある歴史を鹿盲一丸でつないでほしいと願います。



### 小 学 部

10 月 25 日 ~ 26 日、小学部 6 年生が、南薩少年自然の家で宿泊学習をしました。一日目は、桜の枝で「木ホルダー」を作りました。自然の家の先生方に、火おこしや野菜を切る方法を教えてもらいながら、野外で最高のカレーライスを作って食べました。夜は星空観察、夏の大三角形と火星が見えました。二日目は、二人乗りの自転車でサンセットブリッジまでサイクリングをしました。



### 中 学 部

10 月 26 日、谷山から JR、バスと乗り継ぎ、桜島の有村海岸へ。この日、海岸には私達だけ。波打ち際をスコップでカー一杯掘ること 5 分、足湯の完成です。「あったかいね」と二人はにんまり。温度は 44 。潮の満ち引きに影響されるこの海岸。地元の方から絶好の掘り日和と太鼓判。公共交通機関を乗り継ぎ、お天気にも恵まれて充実した自然体験学習となりました。



### 高 等 部

平成 30 年 10 月 5 日に第 87 回全国盲学校弁論大会全国大会が福島県で開催され、本校高等部保健理療科 3 年の南谷良弘さんが九州地区代表として出場しました。南谷さんは自身の体験を基にした「未来に向かって」という題名の弁論を堂々と披露し、審査員からは「気持ちの移り変わりが丁寧に表現されていて感動的だった」と講評をいただきました。惜しくも入賞はなりませんでしたが、自身にとっても非常に貴重な経験になりました。



### 非常食給食

9 月 10 日の避難訓練に合わせ、翌日に非常食での給食が実施されました。メニューは、レトルトカレーと備蓄水、カルフィッシュ、バナナ、炊き出しのスープでした。カレーはご飯と一緒に入っていて、常温で袋を開けてそのまま食べました。準備等に戸惑うこともなく、落ち着いて食事ができました。

